

令和00年分収支内訳書 (農業所得用)

あなたの本年分の農業所得額の金額の計算内容をこの表に（記載して確定申告書に添付）していただく。

提出用

この収支内訳書は機械で読み取りますので、黒のボールペンで書いてください。

住所 フリガナ氏名, 業種名, 農園名, 電話番号, 事務所所在地, 氏名(名称), 電話番号

令和 年 月 日 (自 月 日 至 月 日)

整理番号

○雇人費の内訳

Table with columns: 科目, 目録, 金額, 金額, 金額. Rows include: 販売金額, 家事消費費, 雑収入, 小計, 農産物の期首期末, 棚卸高期末, 計, 雇人費, 小作料・賃借料, 減価償却費, 貸倒金, 利子割引料, 租税公課, 種苗費, 素畜費, 肥料費, 飼料費, 農具費, 農薬衛生費, 諸材料費.

Table with columns: 氏名・住所又は作業名, 日数, 延日, 現物, 金額, 合計, 所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額

○小作料・賃借料の内訳

Table with columns: 支払先の住所・氏名, 小作料・賃借料の別, 面積・数量, 支払額

○事業専従者の氏名等

Table with columns: 氏名, 年齢, 続柄, 従事月数, 延べ従事月数

【税務署整理欄】

整理番号

○収入金額の明細

農産物等の種類名等	作付面積 (飼育頭羽数)	販売金額		家事業消費金額	農産物首		柵期の		高末
		円	円		kg	円	kg	kg	
田	a								
畑									
小計									

(令和二年分以降用)

○減価償却費の計算

減価償却資産の名称等 (繰延資産を含む)	面積又は数量	取得年(成熟)	取得月	取得価額 (償却保証額)	④ 償却の基礎となる金額	償却方法	耐用年数	⑤ 償却率又は改定償却率	⑥ 年中の償却期間	⑦ 本年普通償却費 (⑤×⑧×⑩)	⑧ 特別償却	⑨ 本年分の必要経費算入額 (⑪+⑫)	⑩ 未償却残高 (期末残高)	摘要
計														

(注) 平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にはのみ⑩欄のカッコ内に償却保証額を記入します。

○果樹・牛馬等の育成費用の計算 (販売用の牛馬、受託した牛馬は除きます。)

果樹・牛馬等の名称	① 前年からの繰越額	② 本年中の種苗費、種畜費、素畜費		③ 本年中の肥料、農薬等の投下費用		④ 育成中の果樹等から生じた収入金額		⑤ 本年に取得したものに取付する金額 (⑥-⑦)	⑥ 本年中に成熟したものの取得価額	⑦ 繰越額 (⑧+⑨-⑩)	⑧、⑨、⑩の欄の計算方法
		円	円	円	円	円	円				
計											

◎本年中における特殊事情

--

令和〇〇年分収支内訳書 (農業所得用)

あなたの本年分の農業所得の金額の計算内容をこの表に記載して確定申告書に添付してください。

控 用

記帳と帳簿書類の保存義務について
 事業所得(農業所得)、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う方は、平成26年1月から、記帳と帳簿書類の保存が必要となります。
 ○ 帳簿を備え付けて、収入金額や必要経費について、取引の年月日や金額等を記帳しなければなりません。
 ○ 帳簿や請求書・領収書などの書類を整理して保存しなければなりません。

住所	フリガナ氏名	業種名	依頼者氏名	事務所所在地
		農園名	税理士等	氏名(名称)
		電話番号	電話番号	電話番号

令和〇〇年〇月〇日 (白) 〇〇月〇日 〇〇月〇日 〇〇月〇日

〇雇人費の内訳

氏名・住所又は作業名	日数	延日	現物	金額	合計	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
氏名	住所	作業名	日数	延日	円	円
その他(人分)					⑧	
計						

科 目	金額	金額	金額
収入金額			
① 販売金額			
② 家事消費費			
③ 雑収入			
④ 小計 (①+②+③)			
⑤ 農産物の期首			
⑥ 棚卸高期末			
⑦ 計 (④-⑤+⑥)			
⑧ 雇人費			
⑨ 小作料・賃借料			
⑩ 減価償却費			
⑪ 貸倒金			
⑫ 利子割引料			
⑬ 租税公課			
⑭ 種苗費			
⑮ 素畜費			
⑯ 肥料費			
⑰ 飼料費			
⑱ 農具費			
⑲ 農薬衛生費			
⑳ 諸材料費			
経費			
① 雑費			
② 修繕費			
③ 動力光熱費			
④ 作業用衣料費			
⑤ 農業共済掛金			
⑥ 荷造運賃手数料			
⑦ 土地改良費			
⑧ 雑費			
⑨ 農産物以外の期首			
⑩ 棚卸高期末			
⑪ 経費から差し引く雑損牛馬等の首成費用			
⑫ 小計 (⑧-⑩+⑪)			
⑬ 経費計 (⑧-⑫)			
⑭ 専従者控除前の所得金額 (⑬-⑭)			
⑮ 専従者控除			
⑯ 所得金額 (⑮-⑯)			
⑰ ⑱のうち、肉用牛について特例の適用を受ける金額			

〇小作料・賃借料の内訳

支払先の住所・氏名	小作料、賃借料等の別	面積・数量	支払額
		a・kg	円

〇事業専従者の氏名等

氏名	年齢(歳)	続柄	従事月数
	() 歳		月
	() 歳		
	() 歳		
	() 歳		
延べ従事月数			

〇申告には、必ず提出用を使ってください。



この用紙は 控用 です。申告には、必ず 提出用 を使ってください。

○収入金額の明細

農産物等の種類品名等	作付面積 (飼育頭羽数)	販売金額		家事消費金額	農産物首		棚卸高末	
		円	円		kg	kg	kg	kg
田	a							
畑								
小計								

○減価償却費の計算

減価償却資産の名称等 (繰延資産を含む)	面積又は数量	取得年	取得月	取得価額 (償却保証額)	④ 償却の基礎となる金額	償却方法	耐用年数	⑤ 償却率又は改定償却率	⑥ 年中の本償却期間	⑦ 本年の普通償却費 (⑤×⑥×⑩)	⑧ 特別償却	⑨ 本年分の必要経費算入額 (⑪×⑫)	⑩ 未償却残高 (期末残高)	摘要
計														

(注) 平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にはのみ⑥欄のカッコ内に償却保証額を記入します。

○果樹・牛馬等の育成費用の計算 (販売用の牛馬、受託した牛馬は除きます。)

果樹・牛馬等の名称	① 前年からの繰越額	② 本年中の種苗費、種畜費、素畜費		③ 本年中の肥料、農薬等の投下費用		④ 育成中の果樹等から生じた収入金額		⑤ 本年中に取得したものの取得価額	⑥ 翌年へ繰越す額 (④+⑤-⑦)	⑦、⑧、⑨の欄の計算方法
		円	円	円	円	円	円			
計										

◎本年における特殊事情

--